

## (1) 附属図書館

## ① 附属図書館

## ア 設置の趣旨（目的）及び組織

附属図書館は、教育及び研究活動に資するため、図書・雑誌・その他の資料を一元的に収集・整理・保存し、本学の学生及び職員の利用に供するとともに、学生の主体的・能動的な学びのための環境の整備と学修支援の実施を目的として設置されている。その管理運営は附属図書館長が行い、事務は学術情報課学術情報チーム（情報管理担当、情報サービス担当）が担当している。

## イ 運営・活動の状況

平成30年度に実施した主な事項は以下のとおりである。なお、平成30年度の入館者総数は90,692人、開館日数は352日であった。

## i) 基本学術研究図書・学習用図書の収集・保存

全学の教員に対して推薦依頼を行い、それに基づき基本学術研究図書、学習用図書を収集した。また、シラバス掲載図書の網羅的収集の継続とともに、チーム内でも学習用図書、参考図書、寄贈資料、学生リクエスト図書等の選定を行った。これらの収集と雑誌製本により平成30年度は3,610冊を受け入れた。

## ii) ガイダンス等の学修支援の実施

新入生向け館内案内ツアーのほか年間を通してオーダーメイドガイダンスや授業におけるガイダンスを実施した。また、「読み聞かせ研修会－読み聞かせをやってみよう－」を開催した。

図書館の活性化と学修支援のために「月曜〇〇講座」を改め「研究基礎講座」と題したミニ講座を実施した。1回30分で授業期間の昼休みに合計11回開催した。なお講師の多くは、教員に依頼している。

2階アクティブ・ラーニングスペースmelonにおいて、平成30年度は3コマの授業が実施された。

大学院学生協議会の要望を受けての新潟県教員採用試験前の土日4日間の開館時間2時間延長を引き続き実施した。

## iii) 図書館利用を促進する取組

学生の参加による選書ツアーを実施し、32冊の図書を購入した。

2階カウンター窓側学習スペースを「lime」と命名し、電子黒板を使用したデジタル掲示を開始した。

長岡技術科学大学附属図書館との蔵書交換会を継続実施し及び年間を通して、教員執筆による「『書物』のリレー・エッセイ」及びSNS等による情報発信に努めた。

## iv) 学修環境の改善充実

2階の書架配置換えにより情報交流ゾーンのスペースに余裕をもたせた。

## v) 新潟県立看護大学図書館との相互協力

例年同様、文献複写料金と貸出条件を学内者扱いとするとともに、12月～1月に蔵書交換会を実施し、相互に蔵書の展示・貸出を行った。

## ウ 優れた点及び今後の検討課題等

## i) 図書館資料購入費

資料購入費が逼迫する中で、外国雑誌、電子ジャーナルを含む図書館購入資料選定の方向性について、より広く意見を求めるために第3回学術研究委員会に付議した。継続審議となったため、その結果を受けて引き続き教育・研究に必要な資料について検討する必要がある。

ii) 地域社会への貢献

学外者の平成30年度貸出利用登録者総数は591人で、3,159冊が貸し出された。

iii) 資料の配置、保存、収納

2019年度施設設備概算要求予算により次年度に改修することが決定したため、施設課と協力し本格的に附属図書館としてのレイアウト案等を策定した。引き続き遺漏無く準備をすすめる必要がある。

## ② 運営委員会

### ア 設置の趣旨（目的）及び組織

i) 組織設置の趣旨（目的）

附属図書館運営委員会は、附属図書館の運営に関する事項を審議するために置かれている。

ii) 組織の構成及び構成員等

附属図書館運営委員会は、附属図書館長、各専攻長、学術情報課長及び引き続き平成30年度は、学長指名1人を加えた計6人により構成され、附属図書館長が委員長となった。

### イ 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成30年度は、平成30年6月12日（火）、9月27日（木）、12月12日（水）～1月10日（木）（書面審議）及び平成31年3月5日（火）の4回開催した。

ii) 審議された主な事項

- ・ 平成30年度附属図書館経費
- ・ 平成30事業年度年度計画に関わる実施計画について
- ・ 2019年外国雑誌、電子ジャーナル

iii) 重点的に取組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

「附属図書館の機能強化にむけての整備計画」の策定等に取り組み、年度計画の達成に努めた。